

令和3年度 秋期 システム監査技術者試験 出題趣旨

午後Ⅱ試験

問1

出題趣旨
働き方改革の推進，テレワークの拡大などに伴い，RPA を利用した業務処理の自動化の事例が増えてきている。RPA には，ドラッグアンドドロップなどの比較的簡単な操作でソフトウェアロボット（以下，ロボットという）を開発できるという特徴があるので，ユーザ部門でも容易に導入することができる。 一方で，ユーザ部門は，情報システムの開発，運用及び保守には必ずしも精通しているわけではない。したがって，ユーザ部門だけでロボットを開発し，運用及び保守するには，さまざまなリスクが生じる。 本問では，システム監査人として，RPA を利用した業務処理の自動化において，ロボットの開発，運用及び保守に関わるリスクを低減するためのコントロールが適切に機能しているかどうかを確かめるための知識・能力などを問う。

問2

出題趣旨
企業の IT 利活用は，企業のビジネスプロセス，コンプライアンス，他社や個人に提供するサービス品質など，多様な影響を与える。したがって，システム監査に限定されず，IT に係る様々な監査，評価などが実施されていることが多い。そこでシステム監査の計画・実施においては，システム監査の効率向上や監査対象部門の負担軽減のために，システム監査人は他の監査や評価によって実施された手続とその結果を理解し，システム監査で利用可能であるかどうか検討することが望まれる。 本問では，システム監査人として，他の監査や評価によって実施された手続とその結果についてシステム監査において利用可能であるかどうかについて適切に検討できる知識・能力などを問う。